

さあ、空と飛行機をめぐる旅に出掛けよう!!

第1章

見上げる ～飛行・ 飛翔の夢～

これまで人は空に対してどのような思いを抱いてきたのでしょうか。第1章では、レオナルド・ダ・ビンチが行った飛行の研究のほか、ライト兄弟をはじめとする航空黎明期に活躍したヒーロー、ヒロインの活動を紹介します。空を見上げ、空に憧れ、同時に恐れを抱いた人間の意識に迫ります。



↑レオナルド・ダ・ビンチが考案した「グライダー」(模型) 所沢航空発祥記念館蔵

第2章 | 見下ろす～天からの眺め～

かつては人間の到達できない領域であった空。第2章では、飛行機の発明によって、はるか上空から眺望するという新たな視覚体験によって変化した人間の意識の変容を作品や資料を通して紹介します。

よした はつさぶろう
吉田初三郎「北海道鳥瞰図」(折図) 1936年 八戸クリニク街かどミュージアム蔵



順路

順路

Chapter.2
見下ろす
～天からの眺め～

Chapter.3
空と飛行機の話

美術博物館
フロアマップ

Chapter.1
見上げる
～飛行・飛翔の夢～

Chapter.4
空を飛ぶこと

中庭展示
スペース

入口

受付



↑「世界一周大飛行」ポスター (デザイン・今竹七郎) 1939年 個人蔵

第3章

空と飛行機の話

飛行機の登場から現在まで、そのイメージは人々にどのように受け入れられてきたのでしょうか。第3章では、空と飛行機をめぐるイメージの変遷や多様性に焦点を当て、そこから見えてくる時代の精神を探ります。

順路

第4章 | 空を飛ぶこと



科学技術の発展により「空を飛ぶこと」が当たり前となった現代。最終章では、「空を飛ぶこと」自体をテーマとする作品を通して、「空」という未知の領域に対して人々が抱いてきた憧れや、そこから生み出される物語性などに焦点を当て、「現代人」の意識や感覚の在り方を読み解きます。

なかむらひろし
中村宏《車窓篇 (コックピット)》1975年 練馬区立美術館蔵

会期 7月9日(土)～9月4日(日)

開館時間 9時30分～17時(最終入場は閉館の30分前)

※7月23日(土)、29日(金)、30日(土)は20時まで

休館日 毎週月曜日

※7月18日(月)は開館し、翌19日(火)が休館日

観覧料 ◎お得な前売り券の販売は7月8日(金)まで

一般=600円(500円)、高大生=400円(300円)、

小・中学生以下=無料

※()内の料金は前売り、団体および年間観覧券持参時の料金

- 前売り券販売場所…美術博物館、生涯学習課、アイビー・プラザ、各コミセン(※豊川コミセンを除く)、勇払出張所

同時開催

美術博物館祭 (仮称)

会期 7月23日(土)～31日(日)

詳細は決まり次第などでお知らせします♪